



2021年3月期 第1四半期決算説明

2020年8月31日

 **ダイダン**株式会社



2021年3月期 第1四半期決算 連結業績サマリー

連結業績サマリー

連結経営指標等（経営成績）の概要

（単位：百万円）

	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
受注工事高	48,698	36,167	▲12,530	▲25.7%	前期の大型案件の反動減、新型コロナウイルスの影響により、受注が滞った
完成工事高	33,521	34,816	1,294	3.9%	前期末繰越工事高が潤沢であり、それらがおおむね順調に進捗
完成工事総利益	4,323	5,291	967	22.4%	完成工事高の増加、利益改善による完成工事利益率の上昇
完成工事総利益率 (%)	12.9%	15.2%	2.3p		
営業利益	1,387	2,281	893	64.4%	販売費及び一般管理費が増加となるも、完成工事総利益の増加で吸収し、増益
営業利益率 (%)	4.1%	6.6%	2.4p		
経常利益	1,527	2,524	996	65.2%	前期の為替差損が、当期は為替差益に転じる
経常利益率 (%)	4.6%	7.3%	2.7p		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,078	1,720	642	59.5%	多額の特別損益の発生はなし
四半期純利益率 (%)	3.2%	4.9%	1.7p		

事業環境

- ・ 前期の大型工事の受注の反動減や新型コロナウイルス感染症の影響により、受注工事高は減少となりました。
- ・ 同感染症の影響による一時的な工事の中断などはあったものの、おおむね工事が順調に進捗したことにより、完成工事高は増加となりました。
- ・ 手持ち工事の利益改善等により完成工事総利益が増加したことから、各段階利益も大幅な増加となりました。

受注工事高の落ち込みはあるものの、損益面につきましては、**増収増益**となりました。

連結業績サマリー

連結部門別工事高の推移

(単位：百万円)

		2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減	増減率	主な増減要因等・特記事項
受注工事高	電気工事	5,490	6,114	624	11.4%	
	空調工事	30,872	21,152	▲9,719	▲31.5%	
	水道衛生工事	12,334	8,899	▲3,435	▲27.9%	
	合計	48,698	36,167	▲12,530	▲25.7%	減少要因は前ページのとおり
完成工事高	電気工事	5,493	5,249	▲244	▲4.5%	
	空調工事	20,127	20,957	830	4.1%	
	水道衛生工事	7,900	8,609	709	9.0%	
	合計	33,521	34,816	1,294	3.9%	増加要因は前ページのとおり
繰越工事高	電気工事	15,465	20,379	4,913	31.8%	
	空調工事	88,246	77,780	▲10,466	▲11.9%	
	水道衛生工事	34,800	27,419	▲7,380	▲21.2%	
	合計	138,513	125,579	▲12,933	▲9.3%	受注工事高が減少した一方、完成工事高が増加

- ・ 前ページに記載のとおり、受注工事高が減少した一方、完成工事高は増加しました。
- ・ 受注工事高はおおむね減少しているものの、電気工事においては、工場案件等の受注により増加しました。
- ・ これらの結果、繰越工事高は減少となりました。

連結業績サマリー

連結経営指標等（財政状態）の概要

（単位：百万円）

	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
純資産	67,409	68,316	906	1.3%	四半期純利益1,720百万円が配当額1,090百万円を上回り、利益剰余金が629百万円増加
総資産	123,049	112,859	▲10,190	▲8.3%	期末に計上した大型工事の仕入債務の支払により減少
1株当たり純資産（BPS）	3,101.72円	3,143.13円	41.41円	1.3%	
株価純資産倍率（PBR）	0.94倍	0.90倍	—	—	（参考）2020年3月 株価終値：2,906円 2020年6月 株価終値：2,821円
自己資本比率	54.6%	60.4%	5.8p	—	

連結経営指標等（キャッシュ・フロー）の概要

〔ご参考：決算短信では省略しております。〕

（単位：百万円）

	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
営業活動によるCF	7,403	2,107	▲5,295	▲71.5%	四半期純利益の計上や工事の代金回収による（前期は大型工事の代金回収が集中したことにより前期比では減少）
投資活動によるCF	▲493	▲95	397	—	事務所の改修、ソフトウェア購入費用等（前期は四国支店の建替551百万円）
財務活動によるCF	▲2,081	▲1,593	487	—	配当金の支払（前期は自己株式の取得774百万円）
現金及び現金同等物の期首残高	12,776	21,616	8,840	69.2%	前期期首は支払サイトの短縮という一過性の要因により減少していたが、当期期首においては正常化したため現金は増加
現金及び現金同等物の増減額	4,814	416	▲4,397	▲91.3%	
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,590	22,033	4,442	25.3%	



2021年3月期 第1四半期決算ハイライト

受注工事の状況

受注工事の状況

(単位：百万円)

	2020年3月期			2021年3月期	前年同期比		主な増減要因・特記事項
	第1四半期	第2～4四半期	通期	第1四半期	増減	増減率	
リニューアル工事	24,250	60,751	85,001	20,217	▲4,032	▲16.6%	新型コロナウイルスの影響による一部顧客の改修工事の減少
リニューアル比率 (%)	49.8%	50.0%	50.0%	55.9%			
大規模・中規模の改修工事	13,840	34,297	48,137	11,809	▲2,030	▲14.7%	
小規模の改修工事	10,410	26,453	36,863	8,408	▲2,001	▲19.2%	
その他	24,447	60,672	85,119	15,949	▲8,498	▲34.8%	前期は大型の首都圏再開発案件を受注しており、その反動減、及びコロナ影響による受注の延期
受注工事高合計	48,698	121,423	170,121	36,167	▲12,530	▲25.7%	
直接受注	23,798	57,278	81,077	15,734	▲8,063	▲33.9%	上記「その他」の通り
直接比率 (%)	48.9%	47.2%	47.7%	43.5%			
官庁工事	3,956	18,680	22,636	2,864	▲1,092	▲27.6%	
官庁比率 (%)	8.1%	15.4%	13.3%	7.9%			

・受注工事高については、前期の大型工事の受注の反動減、及び新型コロナウイルスの影響による営業活動の停滞や、受注予定案件の延期等を受け、上記の通りそれぞれ減少となりました。

産業施設工事の状況

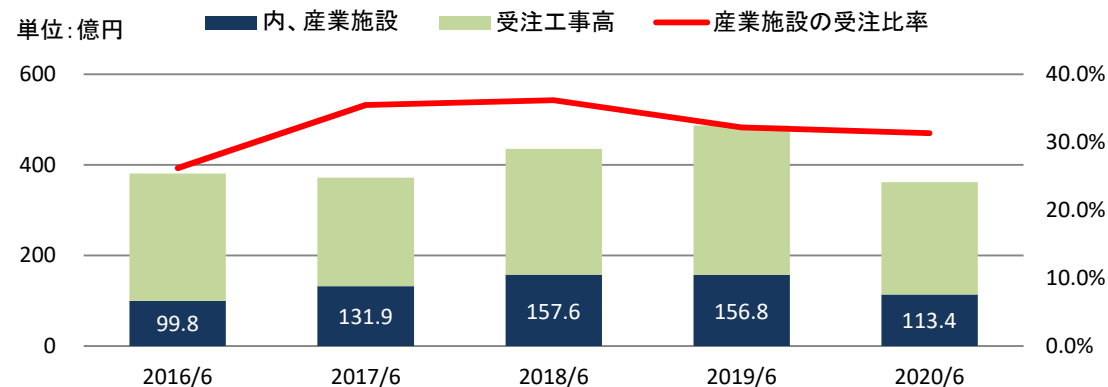
産業施設工事の状況

(単位：百万円)

	2020年3月期			2021年3月期	前年同期比		主な増減要因・特記事項
	第1四半期	第2～4四半期	通期	第1四半期	増減	増減率	
産業施設合計	15,682	40,011	55,694	11,341	▲4,341	▲27.7%	工場、物流施設で減少
(受注比率%)	32.2%	33.0%	32.7%	31.4%			
受注工事高合計	48,698	121,423	170,121	36,167	▲12,530	▲25.7%	

※工場、研究所、データセンター、物流施設を「産業施設」として区分している。

産業施設の第1四半期受注工事高の推移



- 産業施設工事は工場、物流施設で減少し、受注工事高は前期比43億円減の113億円となり、受注比率は31.4%となりました。

海外事業の状況

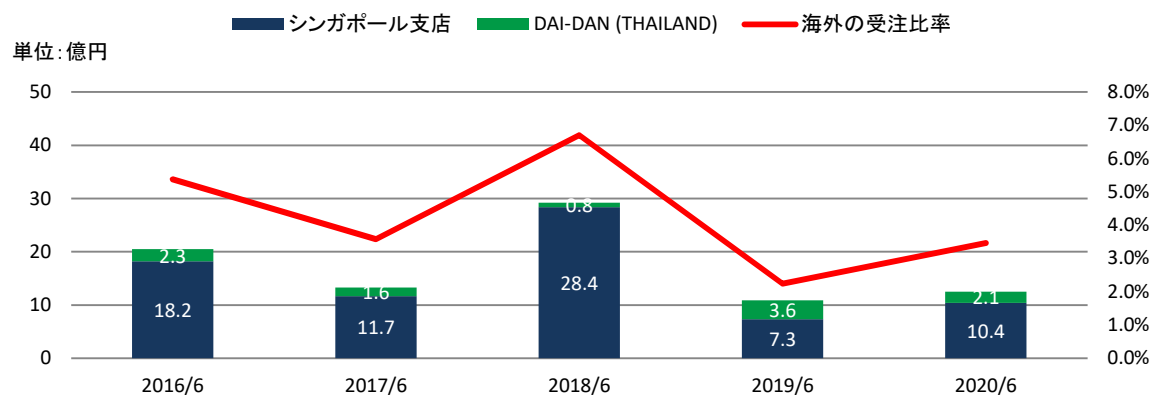
海外事業の状況

- ・海外事業は、シンガポール支店とDAI-DAN (THAILAND) を中心に活動しています。
- ・シンガポールでは、政府による新型コロナウイルス感染拡大防止措置（サーキットブレーカー）の影響を大きく受けているものの、一部顧客からの継続的な受注により、海外事業全体では前期比で微増となりました。

（単位：百万円）

	2020年3月期			2021年3月期	前年同期比		主な増減要因・特記事項
	第1四半期	第2～4四半期	通期	第1四半期	増減	増減率	
海外受注工事合計 （受注比率%）	1,091 2.2%	9,167 7.6%	10,258 6.0%	1,252 3.5%	161	14.8%	一部顧客からの継続的な受注により微増
受注工事高合計	48,698	121,423	170,121	36,167	▲12,530	▲25.7%	

海外の第1四半期受注工事高の推移



海外の事業環境

- ・シンガポールでは6月にサーキットブレーカーが解除されましたが、当分の間、企業の設備投資は減少が見込まれています。特に公共工事は激減しており、建設市場は低迷を続けています。
- ・タイでは、自動車産業の不況に加え、新型コロナウイルスの影響により、当社の顧客である日系企業の設備投資が滞っています。



2021年3月期 通期業績予想

通期業績予想

連結通期業績予想

(単位：百万円)

	2020年3月期			2021年3月期			前期対比 通期	
	第1四半期	第2～4四半期	通期	第1四半期	第2～4四半期 (予想)	通期(予想)	増減	増減率
受注工事高	48,698	121,423	170,121	36,167	124,833	161,000	▲9,121	▲5.4%
完成工事高	33,521	135,708	169,229	34,816	121,184	156,000	▲13,229	▲7.8%
完成工事総利益	4,323	16,733	21,056	5,291	15,409	20,700	▲356	▲1.7%
完成工事総利益率(%)	12.9%	12.3%	12.4%	15.2%	12.7%	13.3%	0.8p	
営業利益	1,387	7,676	9,063	2,281	5,719	8,000	▲1,063	▲11.7%
営業利益率(%)	4.1%	5.7%	5.4%	6.6%	4.7%	5.1%	▲0.2p	
経常利益	1,527	7,755	9,282	2,524	5,676	8,200	▲1,082	▲11.7%
経常利益率(%)	4.6%	5.7%	5.5%	7.3%	4.7%	5.3%	▲0.2p	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,078	5,321	6,399	1,720	3,980	5,700	▲699	▲10.9%
当期純利益率(%)	3.2%	3.9%	3.8%	4.9%	3.3%	3.7%	▲0.1p	

業績予想の前提

一部の海外工事を除き、おおむね全ての工事が施工を再開しており、これまでの業績への影響額を合理的に算定できるようになったこと、及び足元の受注環境について現時点での入手可能な情報から得られた判断に基づく業績予想を算定しております。

- ・受注工事高は、新型コロナウイルス感染症の影響による今後の国内外の設備投資需要の低下により減少
- ・完成工事高は、同感染症の拡大やそれに伴う緊急事態宣言を受け、第1四半期連結会計期間中に受注予定であった案件が翌四半期以降に延期となったことや、施工中工事の進捗遅延などにより減少
- ・各段階利益は、完成工事高の減少によりそれぞれ減少

(2020年8月7日付「2021年3月期業績予想に関するお知らせ」より)

株主還元

株主還元に対する方針

- ・利益配当による株主への利益還元を経営上の最重要施策と考え、健全な財務体質の構築に努めるとともに、「安定的かつ継続的な配当」を基本としています。
- ・公表しております通期業績の各利益につきまして、達成もしくは上回った期におきましては増配を実施してきました。
- ・今後も業績の推移を見ながら、適宜配当金額について検討してまいります。

配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第2四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	28.00	48.00	76.00	1,694	31.0%	2.6%
2020年3月期	40.00	50.00	90.00	1,975	30.9%	3.0%
2021年3月期(予想)	45.00	45.00	90.00		34.2%	

自己株式取得について

資本効率の向上及び株主還元の強化を目的とし、今後も検討してまいります。



Withコロナにおける空調設備と ダイダンの対応

新型コロナウイルス感染症禍でのダイダンの対応

社会的使命として、感染拡大防止措置を徹底しながら医療施設の工事を継続

- 緊急事態宣言期間中(4～5月)に医療施設の工事を継続した件数
 - 施工現場 106 施設(小規模改修工事を含む)
 - 上記のうち、コロナ患者を受け入れ施設 12 施設

新型コロナ対応の診療室、病室向けへの開発製品の導入

- 簡易に短工期で感染拡大防止効果のある「空気清浄・陰圧化ユニット」
 - 問い合わせ件数 82件
上記のうち、病院クリニック 57件、介護老人施設 11件
 - 受注台数 13台



新型コロナ対応のための空調設備改修(増強)工事への対応

- 重症患者受け入れのためのICU改修工事
- 救急外来、病室の感染症対策としての「空気清浄・陰圧化ユニット」の設置工事
- PCR検査用安全キャビネットおよび排気装置の導入工事
- フロア全体の受け入れ患者用病床への空調改修工事 etc.

建築設備で対応できること

感染リスク低減に向けた運用の調整が可能

【運用調整の方針】

- ①必要換気量の確保
- ②取入れ外気量の増大
- ③空調運転時間の延長
- ④温湿度範囲の厳守
- ⑤エアフィルタの保守・交換
- ⑥補助設備として空気清浄機利用

空気調和・衛生工学会 換気設備委員会
“新型コロナウイルス感染対策としての空調設備を中心
とした設備の運用について”
(2020年4月8日) をもとに作成

【顧客への提案】

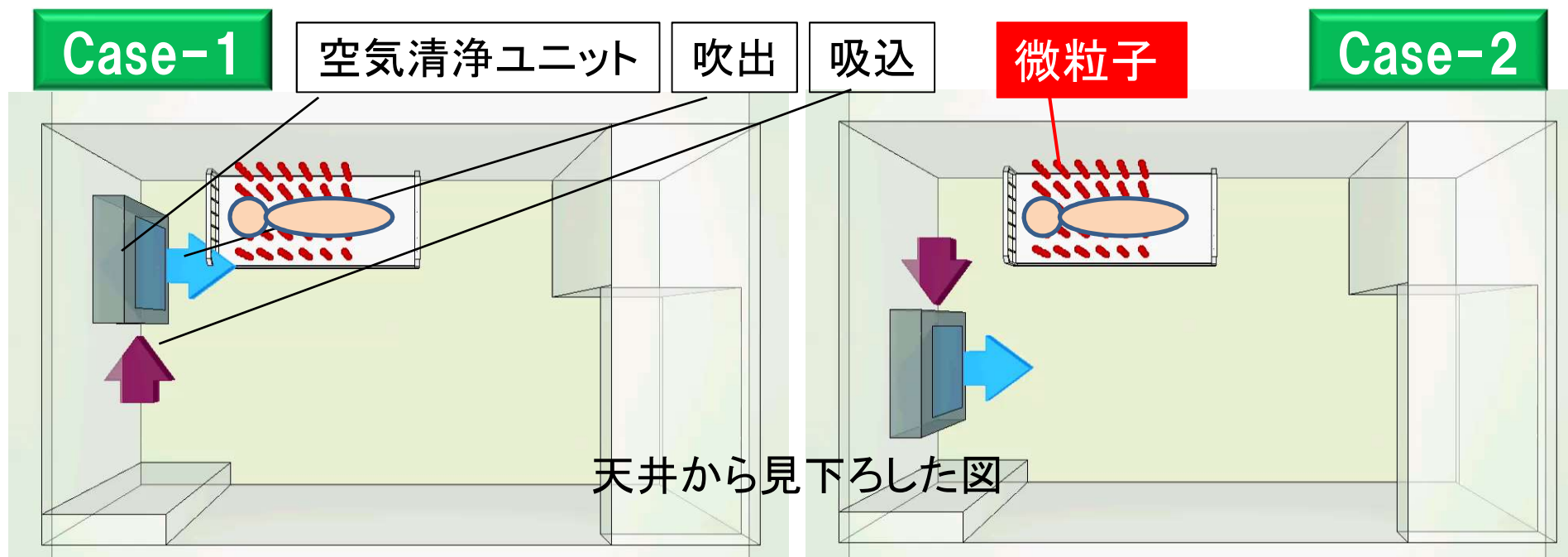
- 既設建物へは、左記運用調整を
提案（必要に応じて改修提案）
- 新築時は、運用調整が可能な
設備設計を提案
- 外気取入れと省エネの両立のための
独自ノウハウを提案
- 気流のエンジニアリングにより効率
的・効果的な換気を提案

気流エンジニアリングの重要性

効果的に換気するには気流をコントロールする必要があります

● 気流解析事例：室内に空気清浄ユニットを置き、効果を確認

気流エンジニアリングの効果を示すサンプルであり、新型コロナウイルス、ウイルスを含む飛沫等の挙動を解析したものではありません



粒子が室内に広がり、捕集に時間を要する

粒子が迅速に捕集される

効果的に換気できる制気口の配置等を提案します

トピックス

ダイダンが「DX銘柄2020」に選定されました



経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する
「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX銘柄)
2020」に選定されました
(2020年8月25日発表)



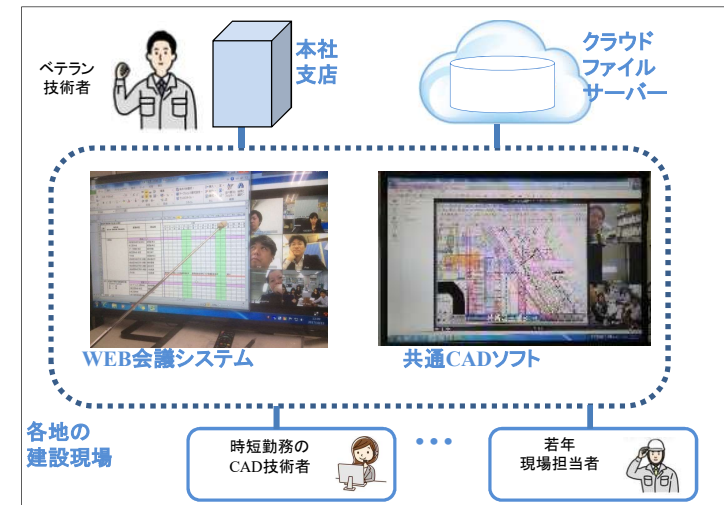
DX銘柄2020
Digital Transformation

DXで建設現場の生産性向上（i-Construction）や次世代の建築設備の開発を加速

最大の資産である「人」を活かすため、DXで働き方改革や新しい建築設備にとりくむ

多様な働き方を実現

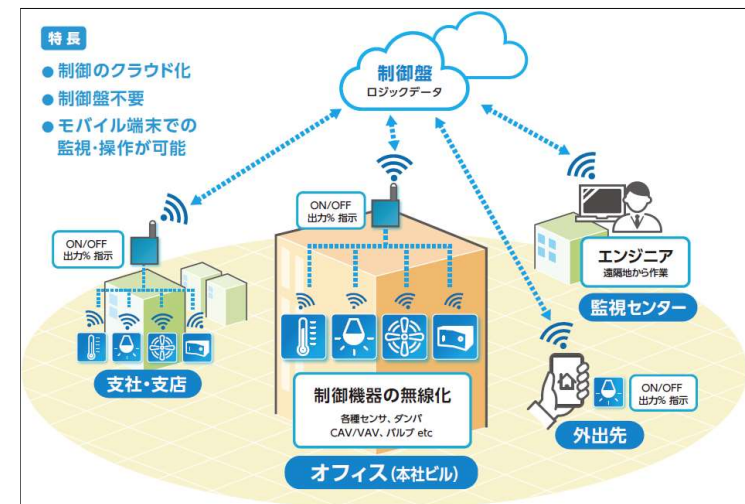
「現場支援リモートチーム」では、各地に散在する建設現場への本社・支店からの効率的な支援を目的として、Web会議ツール・クラウドファイルサーバー・共通CADソフトを活用し、工程管理や現場相互の図面作成支援などを行っています。



現場支援リモートチーム 概念図

クラウド型ビル監視制御システム「REMOVIS」

遠隔地から設備の稼働状況やエネルギー消費状況を監視できるクラウド型ビル監視制御システム『REMOVIS（リモビス）』を開発しました。REMOVISでは、クラウド上で制御・監視機能が稼働しており、さまざまなIoT機器と連携が可能です。



免責事項

当社が開示する今後の計画、戦略などの将来の業績に関する見通しは、発表時点で合理的であると判断する前提に基づき作成しています。

従って、様々な要因により、実際の業績が予想と異なる結果になる場合があります。

IRに関する問合せ先
経営企画室 広報・IR担当: 電話 03-3261-4568
〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10